

## 新年度予算案の基本的な考え方

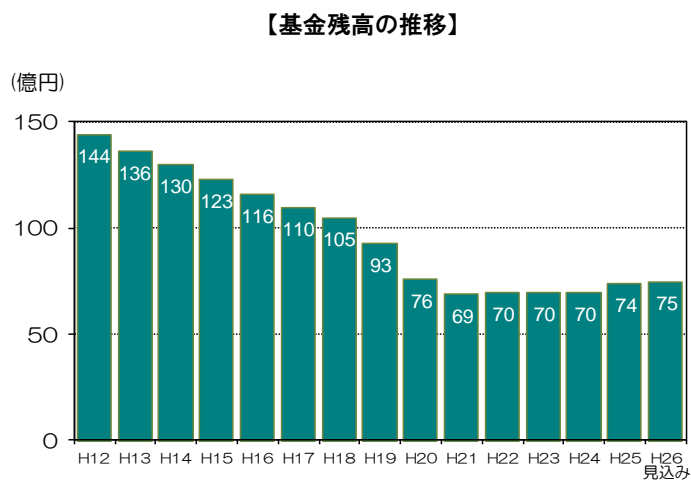
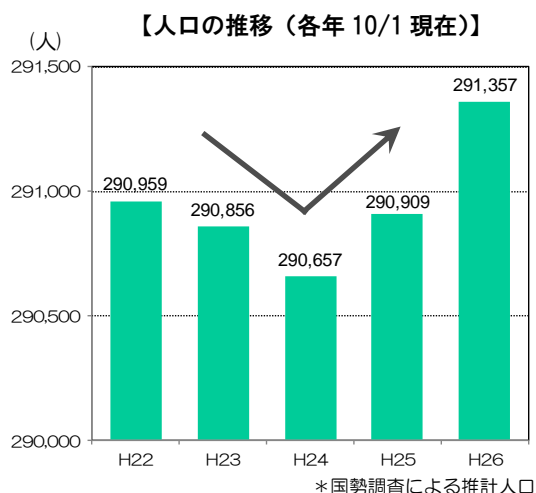
# 1 予算編成の基本方針

## (1) 本市を取り巻く状況とまちづくりの方向性

基本方針

### 本市を取り巻く状況

- 日本全体で進展する人口減少・少子高齢化を克服するため、国が、新たに「地方創生」に向けた取り組みを開始するなど、まちの活力の源である「ひと」への注目が増えています。
- そのような中、本市の人口は、平成 25 年に子育て世代を中心に 4 年ぶりの増加に転じ、平成 26 年も引き続き増加しています。
- 一方、税収が伸び悩む中、総人件費の削減や事務事業の見直しなどを行い、新たな行政ニーズに対応するための財源を捻出してきました。こうした財政健全化の取り組みにより、収支均衡を図ることで市の貯金である基金の残高を維持し、平成 25 年、平成 26 年は、少しずつ積み増しています。



### まちづくりの方向性

- 今後も持続的にまちが成長し、活力を高めていくためには、第5次長期総合計画で目標として掲げる人口 29 万人の維持、更には増加に向けて、ひとをひきつける魅力あふれるまちづくりに取り組むことが大切となります。
- 人口の増加には「転入者が増え、転出者が減ること」、「生まれてくる子どもが増えること」が重要となることから、「明石で暮らし(続け)たい」、「明石で子どもを産み育てたい」と多くの方から思われ、選ばれるための施策展開を図っていきます。
- 一方で、時代情勢や社会潮流に対応するための重点的な施策展開を可能とするため、これまでの取り組みに加え、新たに公共施設配置の適正化などを進め、健全財政の推進に努めます。

## (2) 新年度予算の基本方針 ～もっと「住みたい、住み続けたいまち」へ～

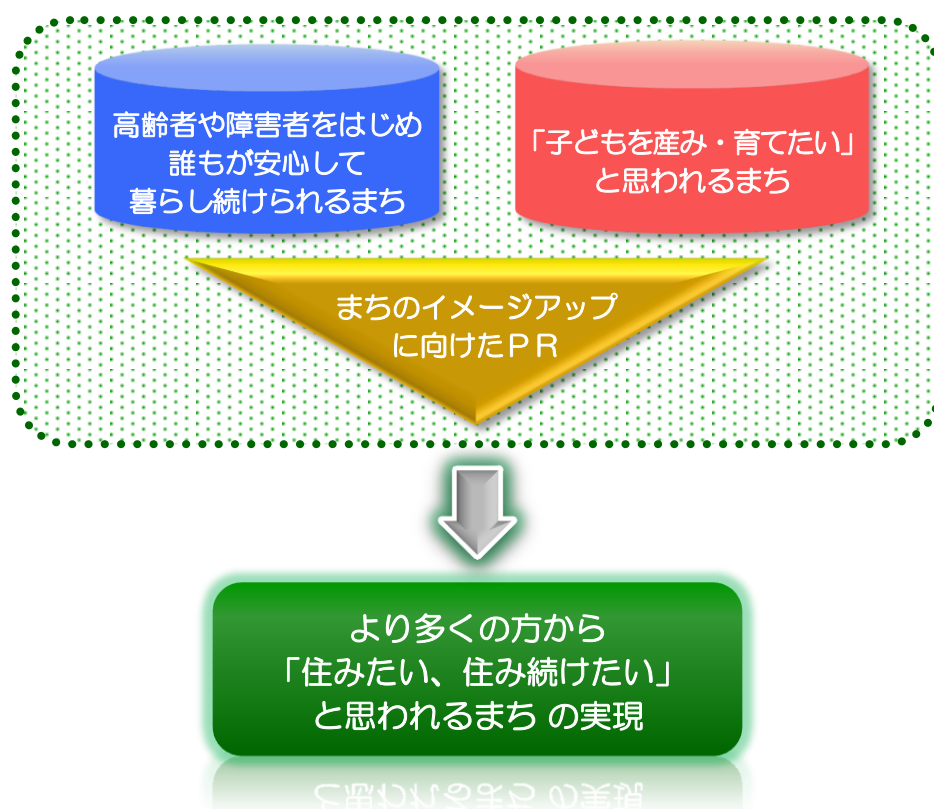
基本方針

### 新年度予算の基本方針

- 新年度予算では、収支均衡を保ち、基金の取り崩しを抑制するなど、健全財政をしっかりと意識しつつ、更なる人口の増加を促進するため、より多くの方から「住みたい、住み続けたい」と思われるまちづくりを進めます。そのために、以下の3つの柱に沿った施策に重点的に予算を配分します。

- ・『高齢者や障害者をはじめ、誰もが安心して暮らし続けられるまち』に向け、子どもからお年寄りまで、また、障害の有無などにかかわらず、すべての方にとって暮らしやすい環境を整え、誰もが笑顔で暮らすことができる“やさしい”まちづくりを進めます。
- ・『「子どもを産み・育てたい」と思われるまち』に向け、明石の未来を担う子どもの出産や健やかな育ちを応援するための取り組みを推進します。
- ・『まちのイメージアップに向けたPR』として、上記の取り組みや、明石が持つ魅力「たからもの」を市内外に積極的に発信することにより、転入・定住を促進します。

### 【まちづくりの3つの柱】



## 2 重点的な取り組み ※ ( ) 内は、資料2の掲載ページ

### 高齢者や障害者をはじめ、誰もが安心して暮らし続けられるまちへ

重点取組

平成24年に市が実施した市民意識調査によると、8割以上の方が明石のまちに愛着を感じ、7割以上の方が住み続けたいと答えています。その理由はどこにあるのでしょうか？

温暖な気候、明石海峡を望む景観、良好な住環境、交通の利便性、人や地域のつながり、そして、安全・安心なまちづくりなど、まちの魅力を考えると枚挙に暇がありません。それらすべてが融合して「暮らしよさ」を形作り、明石のまちの大きな強みの一つとなっています。

人口の増加には、転入者を増やし、転出者を減らす視点が求められます。新年度予算では、暮らしよさに磨きをかけ、子どもからお年寄りまで、また、障害の有無などにかかわらず、すべての方が安全に安心して生活できる環境を整えるとともに、まちの活力を高める施策を推進するなど、より多くの方に「明石で暮らし続けたい」と思ってもらえるまちづくりを進めます。

支援が行き届き  
誰もが安心して  
暮らせるまち

- ・総合福祉センターへの総合相談窓口の設置 (P.1)
- ・認知症高齢者に対する支援の充実 (P.2)
- ・障害者のコミュニケーション支援事業の拡充 (P.3)
- ・市民相談の充実 (P.42)



困った時には、行政がしっかりと支援してくれるから、安心して明石に住み続けられます。

Pick Up!

#### 総合福祉センターへの総合相談窓口の設置

「(仮称) 後見支援センター」など、高齢者や障害者に関する相談窓口を総合福祉センターに集約し、より相談しやすい環境を整えます。

活気とにぎわいが  
あふれるまち

- ・プレミアム付商品券の発行 (P.17)
- ・空き店舗対策の実施 (P.17)
- ・新規創業の促進 (P.17)
- ・明石駅前南地区再開発事業の促進 (P.28)

利便性が高く  
暮らしやすいまち

- ・幹線道路の整備 (P.32)
- ・山陽電鉄立体交差事業の促進及び関連事業の推進 (P.34)
- ・(仮称) 第17号池公園の整備 (P.35)
- ・空き家の適正管理の推進 (P.36)



工事も本格化してきましたし、どんな姿に生まれ変わるのか本当に楽しみだね。

Pick Up!

#### 明石駅前南地区再開発事業の促進

駅周辺の整備工事、国道2号デッキの工事を行うとともに、再開発ビル内への「(仮称) 市民図書館」や「(仮称) こども健やか広場」の開設に向けた準備を行います。

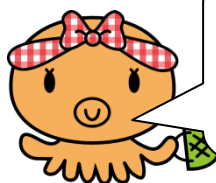
## 「子どもを産み・育てたい」と思われるまちへ

重点取組

「まちの未来」である子どもが数多く生まれ、健やかに育つことが、まちの活性化や人口の増加につながります。「明石で子どもを産みたい、育てたい」と思っただけの環境を整えるため、様々な事情により、子どもを産み育てることを躊躇している方々の背中をそっと押してあげるとともに、生まれてくる子どもを温かく迎え入れ、地域全体で健やかに育てていく、そのような温もりあふれる施策を、明石市は強い思いをもって展開していきます。

### 安心して 子どもが産めるまち (妊娠～出産期)

- ・子育てハッピータウンあかし事業の推進 (P.4)
- ・こども医療費の助成 (P.6)
- ・妊婦健康診査助成の拡大 (P.8)
- ・妊婦歯科健康診査費の助成 (P.9)



子どもを産むのにも何かとお金がかかるから、市からの助成額が大きくなると、本当に助かるわ。

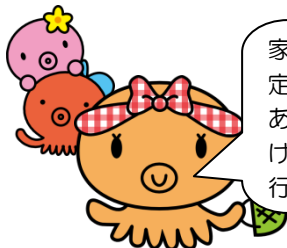
Pick Up!

#### 妊婦健康診査助成の拡大

妊娠期の健康診査費用に対する助成金額を、現在の70,000円から82,000円に増額し、妊娠・出産にかかる負担を減らします。

### 健やかに 子どもが育つまち (乳幼児期)

- ・病児保育・病後児保育の実施 (P.6)
- ・市立幼稚園における預かり保育の拡大 (P.6)
- ・保育所及び認定こども園の整備 (P.7)
- ・乳幼児の任意予防接種に係る費用助成の導入 (P.8)



家の近くの保育所が定員一杯で、仕事をあきらめていたんだけど、これで働きに行けそうね。

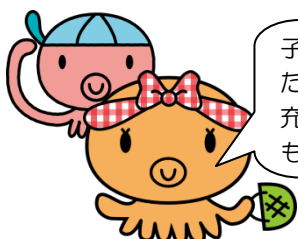
Pick Up!

#### 保育所及び認定こども園の整備

待機児童数が多い西明石・大久保地区を中心に、保育所や認定こども園の新設・建替えを行い、受入定員を360名増やします。

### 充実した教育が 受けられるまち (小学生～)

- ・学校施設の非構造部材耐震化 (P.11)
- ・学力向上の推進 (P.12)
- ・あかしっ子元気・体力アップ事業の推進 (P.13)
- ・子どもの読書活動の推進 (P.13)



子どもの学力向上のための取り組みが充実して、親としても安心だわ。

Pick Up!

#### 学力向上の推進

土曜日や平日放課後に教員OBや地域の方の協力を得て開催する学習教室を拡充します。また、全小中学校にタブレット端末を配備し、その活用等により、子どもの学習意欲を高めます。

## まちのイメージアップに向けたPR

重点取組

昨年、4年ぶりに本市の人口が増加に転じました。更にうれしいことに、若い世代が中心となって増加しています。これは、数年来、本市が力強く進めてきた「こどもを核としたまちづくり」が、子育て世帯を中心に、徐々に浸透してきた成果であるとも考えられます。

この流れを確かなものにするだけでなく、更に底上げするためには、「こども」を切り口に、みんなが元気になる施策をより一層推進することはもちろん、明石のたからものや明石ならではの施策を市内外の方に幅広く知っていただくことが大切になります。

多くの方が、「暮らしてみたいまち」として明石の名を一番に挙げていただけるよう、まちの魅力を積極的にPRしていきます。

### まちの魅力の 戦略的な発信

- ・「本のまち明石」プロジェクトの推進 (P.16)
- ・シティセールスの推進 (P.39)
- ・「選ばれるまち」に向けた取組の推進 (P.40)
- ・ふるさと納税寄附金の推進 (P.43)

### まちの「たからもの」 を生かしたPR

- ・明石焼を活用した明石の魅力発信 (P.20)
- ・観光パンフレットのリニューアル (P.20)
- ・天文科学館55周年・シゴセンジャー10周年記念事業の開催 (P.21)
- ・さかなクンを活用した明石の“たからもの”発信 (P.41)



多くの「ひと」が集まって、未来に向けて、もっと元気な「まち」になるとイイな。

Pick Up!

### シティセールスの推進

市内外の多くの方に本市の魅力を知ってもらい、転入・定住を促進するため、まちの良さや魅力などをわかりやすく紹介したパンフレットを作成するなど、まちのイメージ向上に向けたPRを行います。